

2023年度

事業報告

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

静岡県磐田市新貝2500番地

目次

【事業報告】

「事業の概況」	2
---------	---

「事業別の状況」

◆チャレンジ支援事業（公1）

1. 助成(スポーツチャレンジ助成)	3
2. 表彰(スポーツチャレンジ賞)	5
3. 普及啓発のための情報発信	6

◆スポーツ体験促進事業（公2）

1. 各種体験活動	
(1) ジュニアヨットスクール葉山(セーリング体験)	7
(2) セーリング競技会(セーリング競技体験)	8
(3) 自然体験絵画コンテスト(自然体験)	9
(4) 教材の提供(体験活動に必要な教材の提供)	10
(5) 体験型スポーツ教室/イベント	10
2. 調査研究	11
3. 普及啓発のための情報発信	12

【事務報告】

1. 理事会・評議員会・評議員選定委員会	13
----------------------	----

「事業の概況」

全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が漸く収束し、4年振りに平穏を取り戻した2023年度は、この時を待ちに待った世界中の人々が大きく動き出した活気ある1年となりました。

一方で、ウクライナへのロシアの武力侵攻は3年目となり現在もまだ終焉には及ばず、更に中東においてはイスラエルとハマスの激しい武力交戦が勃発し、未だ解決しない状況が続き、心の痛む出来事が世界のあちこちで発生する非常に痛ましく残念な年でもありました。一日も早い穏やかな時が、全世界に訪れる事を願うばかりです。

スポーツ界においては、3月に行われたWBC(ワールドベースボールクラシック)での侍ジャパン優勝、大谷翔平選手のMLBでの連日の活躍が、日本中に活気に満ちたエネルギーを与えた1年となりました。

そのような状況の中、当財団の各事業活動においては、すべての活動を計画通りに遂行して参りました。

チャレンジ支援事業においては、スポーツチャレンジ助成に新たな審査委員2名を加えた充実した新体制の下、17期生の活動を積極的に支援するとともに、チャレンジ精神旺盛な18期生を採択することが出来ました。

17期生成果報告会及び18期生助成金贈呈式の間であるスポーツ・チャレンジャーズ・ミーティングは、本年3月に日本青年館ホテルにおいて、以前同様に臨場感溢れる有意義なイベントとなったことは言うまでもありません。

また、スポーツチャレンジ賞では、第15回受賞者“能瀬さやか氏”の表彰式と受賞記念事業としてスポーツ界の様々な方が参加しシンポジウムを開催。能瀬さやか氏のすばらしい功績を多くの方にご紹介しました。

第16回スポーツチャレンジ賞は、『義足の図書館』を開設・運営している遠藤謙氏が選ばれ、昨年度同様スポーツチャレンジ賞に相応しい、“縁の下の力持ち”を採択することが出来たと認識しております。

スポーツ体験促進事業においては、年度末第32回セーリング・チャレンジカップを浜名湖において開催し、全国のジュニアセーラーが、浜名湖を舞台に切磋琢磨しました。

ジュニアヨットスクール葉山は、7月の夏合宿も含めて全てのカリキュラムを計画通りに執行し、逞しい成長をみせる子どもたちを確認することが出来た1年となりました。

自然体験を絵にする自然体験絵画コンテストでは、夏休みの宿題として多くの幼稚園・小学校からの応募があり、昨年同様子どもたちの絵にしたいくなるような楽しい自然体験が沢山あったことを確認することが出来ました。

また、地域を巻き込む活動、共感の輪を広げる方針の下、「ユニバーサル・スポーツ(ボッチャ)体験会」も計画通り開催。スポーツ教材の提供活動は、昨年同様“ボッチャボールセット”及び“タグラグビーセット”を120団体へ提供。配布先の小中学校等で新たなスポーツ体験をする子どもたちが増えたことと認識しております。

昨年より取り組んでいる中期事業方針“Value5”は、今後の様々な時代の変化に対応しながら社会的価値を高め、「YMFSらしさ」を具現化する持続的な活動として進化を続けていくとともに、その事業基盤づくりとして、事業体制や定款、関連規程等の改廃を行い、2023年1月に内閣府の事業変更認定を得ました。

これにより「チャレンジ支援」と「スポーツ体験促進」という2つの事業ごとに、目的・方針・運営・管理・会計を含めたシンプルで、分かり易い事業体制へと再整備が実現し、まさに動き始めた充実した年度と捉えています。

2024年度の具体的な活動においては、引き続き“Value5”を愚直に推進する年度と捉えており、今年度同様子どもたち等参加者、関係者の方々の安全を最優先し、適宜柔軟な見直し、調整を加えながら展開していく所存です。

関係の皆様のご支援に改めて感謝を申し上げますとともに、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

「事業別の状況」

◆チャレンジ支援事業（公1）

本事業は、将来、スポーツ振興及びスポーツ文化の発展を担う人材にとっての重要な成長機会と言える「挑戦（チャレンジ）」に焦点をあて、助成対象者（チャレンジャー）を支援する助成事業とチャレンジを称賛し奨励する表彰事業とのシナジーを高めることにより事業の質を向上し、チャレンジすることを総合的に支援する事業として展開しております。各活動の意義・活動内容は、分かりやすくホームページや其他媒体を通じて情報公開します。

1. 助成（スポーツチャレンジ助成）

スポーツ振興及びスポーツ文化の発展において、将来、世界を舞台に活躍できる人材の育成を目的に、スポーツに関する技術・体力の向上、その他実践的活動、及び学術的な研究に対する助成を行います。

〈2023年度（第17期）の助成実績〉

分野	2023年度（第17期）	※参考 2022年度（第16期）
体験助成	15件（1,499万円）	12件（1,215万円）
研究助成	16件（1,514万円）	17件（1,665万円）
合計	31件（3,013万円）	29件（2,880万円）

※第16期生体験助成は、途中辞退2名後（2023年 3月時点）の数値

〈2024年度（第18期）助成対象者の募集概要〉

募集期間	2023年 9月1日（金）～10月31日（火）
告知方法	・ニュースリリース及び、関係大学、競技団体等への案内 ・当財団ホームページにて応募要項を掲載

助成分野・区分		応募資格	助成金額/件	助成件数
体験助成	ジュニア	ジュニア世代の国際大会での実績を有する、2011年 4月 1日以前生まれ（応募時、中学1年生以上）の個人および、これによって構成されるチーム	上限50万円	ジュニア・ベーシック 合わせて 10件程度
	ベーシック	世界選手権等国際レベルを目指す、2009年 4月 1日以前生まれ（応募時、中学3年生以上）の個人および、これによって構成されるチーム	上限100万円	
	アドバンスド	世界選手権等国際レベルでの実績を有する、2009年 4月 1日以前生まれ（応募時、中学3年生以上）の個人および、これによって構成されるチーム	上限150万円	若干名
研究助成	奨励	助成期間中、大学院博士課程（博士後期課程）に在籍中または修了した方（学位未修得者を含む）のうち、1993年 4月 2日以降生まれの方。	上限60万円	5件程度
	基本	助成期間中、大学や研究機関等で研究職として活動に従事する、1983年 4月 2日以降生まれの方 ※教授職又は教授職相当の職位の方は除きます	上限120万円	10件程度

※助成期間は、2024年 4月から1年間。

〈第18期審査委員会開催〉

審査委員会	審査分野	日程	会場	審査委員
第1回 (書類審査)	体験・研究助成	2023年12月 2日(土)	遠鉄百貨店会議室 (リモート開催)	11名
第2回 (面接審査)	研究助成	2024年 1月20日(土)	日本青年館ホテル	6名
	体験助成	2024年 1月21日(日)		6名

〈第18期応募、採択状況〉

分野	2024年度(第18期)			※参考 2023年度(第17期)		
	区分	応募件数	採択件数	区分	応募件数	採択件数
体験助成	ジュニア	13名	3名	ジュニア	4名	3名
	ベーシック	56名	10名	ベーシック	26名	7名
	アドバンスド	21名	2名	アドバンスド	12名	5名
	(計)	90名	15名	(計)	42名	15名
研究助成	奨 励	27名	6名	奨 励	16名	5名
	基 本	31名	9名	基 本	30名	11名
	(計)	58名	15名	(計)	46名	16名
	(合 計)	148名	30名	(合 計)	88名	31名

〈第18期助成金額(採択時)〉

分野	2024年度(第18期)	※参考 2023年度(第17期)
体験助成	15件(1,440万円)	15件(1,499万円)
研究助成	15件(1,434万円)	16件(1,514万円)
助成額合計	30件(2,874万円)	31件(3,013万円)

〈第18期助成金贈呈式〉

開催日	会場	出席対象者
2024年 3月23日(土) 9:00～ 9:30	日本青年館ホテル	第18期助成対象者、第17期生、審査委員他

※第17回スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティングの中で開催

《助成事業の一環としてのフォローアップ活動》

チャレンジの成果と同様に、そこに至るプロセスを大切にしている当財団の助成制度では、助成対象者に対して、PDCA(Plan Do Check Action)を基軸に、活動の振り返りや、異分野交流を通じた相互刺激、気づきの機会を提供する等フォローアップ活動のプログラムを実施しています。

(1) 第17期四半期活動報告書の提出

助成開始時に提出されたチャレンジ年間計画に対し、四半期ごとの進捗状況を、CNS(チャレンジャーズ・ネットワーク・システム)を介して報告させ、審査委員から一人一人にアドバイスをを行いました。

(2) 第17期中間報告会の開催

中間報告会では、チャレンジャーから上半期の活動経過を報告し、チャレンジャー相互や審査委員も含めた活発な質疑応答がなされました。

〈2023年度(第17期)中間報告会〉

日程		会場	チャレンジャー	審査委員
第1回	10月14日(土)	日本青年館ホテル	7名	6名
第2回	10月15日(日)		7名	5名
第3回	10月28日(土)		8名	5名
第4回	10月29日(日)		6名	7名

(3) 成果報告会および修了式について

スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティングは、年度末の時期に現・新チャレンジャーと審査委員が一同に会して1年間のチャレンジ成果や課題を確認するとともに、異分野の交流を通じて多様な価値観に触れ、一人一人がスポーツについて「語り」「学び」「考える」機会を提供することを目的として開催している行事です。

〈第17回スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング〉

日程	会場	概要	出席者
2024年 3月23日(土) 24日(日)	日本青年館ホテル	・第17期生成果報告会 ・特別講演(能瀬 さやか氏) ・異分野交流会他	・第17期生 21名 ・第18期生 18名 ・審査委員他 13名

(4) スポーツチャレンジ助成表彰

現在、または過去に本助成制度を受け、成果報告会等で報告されたチャレンジャーの中から、優れた成果を上げ、スポーツ振興に貢献されたチャレンジに対し、審査委員会での審議を経て、「特別賞」及び「優秀賞」を贈呈しています。

2023年度は、「優秀賞」を第17期生体験チャレンジャー千葉百音(ジュニア/フィギュアスケート)、吉田陽菜(ベーシック/フィギュアスケート)の2名が受賞。

2. 表彰(スポーツチャレンジ賞)

スポーツの普及・振興に功績をあげ、将来、更なる貢献が期待される個人・団体を表彰するとともに、チャレンジスピリットあふれる受賞者の足跡やその実像を通じて、挑戦(チャレンジ)することの尊さや大切さを社会に伝播することを目的としています。表彰対象者のイメージは、チャレンジ支援(事業)の趣旨を踏まえ、未来志向を鮮明にした表彰制度として、「縁の下の力持ち」的な個人・団体と捉え、報道機関、スポーツ競技団体、大学等からの候補者情報、又は推薦等を募り、2回の審査委員会審議を経て表彰対象者を決定します。

〈本賞の概要〉

スポーツ チャレンジ賞	日本のスポーツを支える「縁の下の力持ち」の功績を称えるとともに、受賞者の更なるチャレンジと活躍を期待・奨励する表彰制度
対象者	スポーツ振興や社会の活性化につながる大きな成果に対し、献身的な活動で縁の下から支えた人物・団体
後援	(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会 (公財)日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会

表彰式	2023年 6月2日(金)御茶ノ水 ソラシティカンファレンスセンター テラスルーム
スポーツ チャレンジ賞	能瀬 さやか 氏 (東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 産婦人科医)※2022年時点 「女性アスリートの“現在・未来の健康”を守る ～ ゼロからのチャレンジ ～ 」
記念事業	2023年 6月2日(金)御茶ノ水 ソラシティカンファレンスセンター ソラシティホールイースト 記念シンポジウム『女性アスリートの健康』を考える ・基調講演「女性スポーツ医学の知見や女性アスリートへの啓発が、 一般女性全体のヘルスケアにつながる」 ・パネルディスカッション モデレーター:伊坂 忠夫氏(YMFS 理事/助成審査委員長) パネリスト:能瀬 さやか氏、伊藤 華英氏、河合 純一氏、高橋 昌彦氏
情報公開	・表彰式の模様は当財団ホームページにて公開・掲載 ・受賞者の功績や、知られざる足跡等詳細情報を、当財団ホームページ、スペシャルウェブ コンテンツ(特集記事)「BACK STORIES(バック・ストーリーズ)」の中で紹介

〈2023年度(第16回) スポーツチャレンジ賞受賞者の選考〉

候補者募集	2023年 7月 3日(月)～ 9月29日(金)
選考委員会	第1回 2023年12月 2日(土) 遠鉄百貨店会議室(リモート開催) 第2回 2024年 1月20日(土) 日本青年館ホテル 21日(日) 日本青年館ホテル
表彰式	2024年 5月28日(火)御茶ノ水 ソラシティカンファレンスセンター(予定)
スポーツ チャレンジ賞	遠藤 謙 氏(義足エンジニア) Blade for All 「だれもが走れる社会」を実現するために
情報公開	・表彰式の模様は当財団ホームページにて公開・掲載(予定) ・受賞者の功績や、知られざる足跡等詳細情報を、当財団ホームページ、スペシャルウェブ コンテンツ(特集記事)「BACK STORIES(バック・ストーリーズ)」の中で紹介(予定)

3. 普及啓発のための情報発信

スポーツ振興やスポーツ文化向上による社会の活性化に寄与することを目的に、事業の活動に関する情報を、ホームページ等を通じて広く社会に対して発信しています。

また、刊行物やリリース発行での広報活動の充実にも努めています。

情報発信手段	概要
ホームページ	主な掲載内容 ・各事業活動の告知(案内、募集、結果報告等) ・第17期スポーツチャレンジ助成対象者の実像を紹介 ・第15回スポーツチャレンジ賞受賞者の人物像を紹介 (BACK STORIES)
ニュースリリース	・スポーツチャレンジ助成 助成対象者募集、対象者決定等 計4件
刊行物	・YMFS通信 毎月配信 (配信先 約850か所) ・2022年度年間事業報告書 Yearly Digest 700部

◆スポーツ体験促進事業（公2）

社会や家庭生活における環境の変化等により、子どもたちの体力・運動能力の低下や、自然体験の機会が減少していると言われる中で、次代の人材育成の基礎となる、心身ともに健全な子どもたちの育成を目指し、スポーツや自然がより身近なものとなるさまざまな運動機会や自然体験機会の創出を目指しています。

本事業では、「子どもたちのスポーツ現場のより近くに」を大切な視点に置いて、私たちの持つ事業リソースを活かし得る分野を中心に、各種体験機会を提供しています。

1. 各種体験活動

(1) ジュニアヨットスクール葉山（セーリング体験）

心身ともに健全で逞しい子どもたちの育成を目的に、小学生から高校生を対象として、通年型（4月～翌年3月）のヨットスクールを、神奈川県葉山町葉山マリーナを拠点に運営しています。

世代や個々のセーリングの技術レベルに合わせた独自のクラス分けと、これに沿ったカリキュラム等により、原則、月2回の通常講習を行なっています。

セーリング指導、水辺活動・安全対策等に加えて、協調性やコミュニケーション能力等を養うことを目的に、久しく実施が叶わなかった夏合宿を復活させ、子どもたちの成長を実感する事が出来ました。この夏合宿は2024年度も継続して実施する予定です。

また葉山周辺で開催される競技大会にも参加する等、より総合的な視点でのプログラムを実施しています。2023年度は、15名のスクール生を対象に活動しました。

〈指導方針〉

- ① 年度初めに1年間の目標を設定し、PDCAに基づく指導
- ② セーリングに関する適切な知識、経験、技能を備えた指導者による適切な指導
- ③ 逞しい心や競う力を養う目的から、上級者を中心とした葉山周辺及び年度末のレガッタへの参加
- ④ セーリング技術の向上と人材の育成を目的とした浜名湖での夏季合宿の実施
- ⑤ 「自然・水辺体験学習」を取り入れた総合的なプログラムを通じて、海、水辺、海事に関する教育を実施
- ⑥ スクールの指導理念や活動状況を共有し、理解協力を促進する目的で保護者会を年1回開催

〈スクール講習クラス〉

- | | |
|-------------------|-------------|
| ① ベーシッククラス（入会初年度） | 毎月2回（年間24回） |
| ② マスタークラス | ↑ |
| ③ エキスパートクラス | ↑ |
| ④ クラブ（高校生） | ↑ |

〈2023年度スクール活動〉

スクール活動においては、指導者、保護者、スクール生の協力を得ながら、スクールの全活動を実施。

〈通常講習以外の主な活動〉

実施内容			日程	場所
〈2023年〉				
1	ミキハウスカップ東京2023	4名参加	5月21日	葉山新港
2	レーザー関東選手権	3名参加	6月17日～18日	江の島ヨットハーバー
3	安全講習会※海上保安部主催	2名参加	6月18日	葉山マリーナ

4	水辺の安全講習会※LSA葉山協力	20名参加	7月 9日	葉山マリーナ
5	夏合宿(生徒7名/指導者3名)	10名参加	7月25日～29日	三ヶ日青年の家
6	2023クリスマス会	29名参加	12月17日	葉山マリーナ
〈2024年〉				
7	安全祈願(生徒9名/指導者9名)	18名参加	1月 7日	森戸神社
8	第32回セーリング・チャレンジカップ	3名参加	3月22日～24日	三ヶ日青年の家

(2) セーリング競技会(セーリング競技体験)

〈セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖〉

本事業は、心身ともに健全な子どもたちの育成を目的に、全国のジュニア・ユースセイラーが一堂に会し、日頃の練習成果や、次年度の目標確認の場として、また、選手・指導者同士の交流や技術向上に資することを目的に、年度末に開催しました。

〈第32回 YMFSセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖の概要〉

開催日時	2024年 3月22日(金)～24日(日)(3日間)
開催場所	静岡県立三ヶ日青年の家
主催	(公財)ヤマハ発動機スポーツ振興財団
公認団体	(公財)日本セーリング連盟(承認番号2023-55)
運営協力	(特非)静岡県セーリング連盟
助成	(独法)日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成金」 JSC 助成金交付確定金額 3,888,000 円 当該助成金は、医師、審判員・スタッフ等への謝金、大会役員等への宿泊費・交通費、運営艇等の借用料・運送料等に使用しました。  第32回「セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています。
協賛	ヤマハ(株)、(株)ワイズギア、(株)ノースセールジャパン、パフォーマンスセイルクラフトジャパン(株)
後援	スポーツ庁、(公財)日本スポーツ協会、静岡県、静岡県教育委員会、(公財)静岡県スポーツ協会、浜松市、浜松市教育委員会、(公財)浜松市スポーツ協会、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、NHK静岡放送局、静岡第一テレビ、テレビ静岡、K-MIX、FM Haro!(一社)日本オプティミストディンギー協会、(一社)日本レーザークラス協会、
協力	静岡県立三ヶ日青年の家
競技種目	・ILCA4(4.7級)、ILCA6(ラジアル級)、OP級(初級・上級) (注)ILCA4(4.7級)は、2024年ユース選考ランキング対象大会
実施概要	参加団体数・・・14団体 参加人数・・・50名 参加艇数・・・50艇 ・ILC4(4.7級)15艇、ILC6(ラジアル級)17艇、OP初級10艇、上級8艇

(3) 自然体験絵画コンテスト(自然体験)

本事業は、子どもたちが自然と触れ合い、自然の中で活動するきっかけを提供することを目的に、幼児、小学生を対象に「自然体験(活動)」をテーマにした絵を描くことによって、自然体験活動への興味・関心を高め、また表現力や感性を育むことを願い開催しています。このような趣旨から体験事業に位置付けて運営しています。

〈第35回全国児童自然体験絵画コンテストの概要〉

募集期間	2023年 6月26日(月)～ 9月15日(金)
対象	幼児、小学生
募集方法	当財団ホームページおよび募集リーフレット等にて告知
特別協賛	ヤマハ発動機(株)
協賛	三井住友海上火災保険(株)、マルマン(株)、(株)ワイズギア
後援	文部科学省、国土交通省、環境省、農林水産省、(一社)日本マリン事業協会、(公社)日本ユネスコ協会連盟、(一社)日本マリーナ・ビーチ協会、(特非)ジャパングームフィッシュ協会、(独法)国立青少年教育振興機構、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会
審査日程	予選会:10月10日(火)、11日(水) 最終審査会 :10月24日(火)
受賞者発表	11月 7日(火)
表彰	入賞作品 24点 最優秀賞 : 文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞 特別賞 : 審査員長賞、日本マリン事業協会会長賞、日本ユネスコ協会連盟賞、日本マリーナ・ビーチ協会会長賞、ジャパングームフィッシュ協会会長賞、国立青少年教育振興機構理事長賞、日本海洋レジャー安全・振興協会会長賞、ヤマハ発動機賞、YMFS特別賞(3点) 優秀賞 : 金・銀・銅賞(幼児、小学校低学年・高学年各部門) 入選作品286点 (秀作127点、佳作159点)
応募状況	作品数:8,718点 (前年度16,930点) 団体数:577団体 (前年度850団体)

〈審査会〉

審査会	日程	会場	内容	審査員
予選会	10月10日(火) 11日(水)	ヤマハ発動機 コミュニケーションプラザ	専門家(画家)による審査を行い、 入選作品決定	2名
最終審査会	10月24日(火)	御茶ノ水ソラシティ	専門家、後援省庁・団体代表者 による審査で入賞作品決定	16名

〈各大臣賞表彰式〉

※コンテスト入賞者の詳細は別紙掲載

賞名	日程	会場	受賞者/贈呈者
文部科学大臣賞	12月15日(金)	広島県福山市	受賞者:山中 ^{やまなか} 陽詞 ^{ひなり} さん(年長) 贈呈者:河邊事務局長(常務理事)
国土交通大臣賞	12月18日(月)	和歌山県紀の川市	受賞者:東野 ^{ひがしの} 妃那 ^{ひな} さん(年長) 贈呈者:国土交通省近畿地方整備局 和歌山港湾事務所長 片岡輝行様

環境大臣賞	12月12日(火)	千葉県流山市	受賞者:永井 秀弥さん(5年生) 贈呈者:河邊事務局長(常務理事)
農林水産大臣賞	12月11日(月)	兵庫県神戸市	受賞者:大友 遥さん(1年生) 贈呈者:河邊事務局長(常務理事)

〈入賞作品紹介〉

情報公開	当財団ホームページにて掲載
作品展示	「ジャパンインターナショナルポートショー2024」会場での展示公開 2024年 3月21日(木)～ 3月24日(日)パシフィコ横浜会場

(4) 教材の提供 (体験活動に必要な教材の提供)

本事業は、スポーツ教材の活用を通じて、子どもたちが楽しく体を動かすきっかけとなり、スポーツ好きな子どもの増加、体力・運動能力の向上、心身の健全な育成の一助となることを目的に、全国の幼稚園、小学校、ジュニアスポーツクラブ、総合型地域スポーツクラブ等を対象に実施しています。教材提供先には、活用報告書の提出を求め、模範的な活用事例は、当財団ホームページ等に掲載して社会啓発に努めています。

〈2023年度「スポーツ教材の提供」の概要〉

募集期間	2023年 3月10日(金)～ 4月17日(月)
活用対象	幼児から中学生 (タグラグビーセットは小学生以下)
提供先団体	教材を継続的に活用してスポーツ機会を提供できる団体(保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校、児童養護施設、児童クラブ、教育委員会、体育協会、スポーツ少年団・クラブ・スクール等、スポーツに取り組む団体)
教材内容	① ボッチャボールセット ② タグラグビーセット
募集方法	当財団ホームページおよび教育委員会等を通じて告知
選考方法	書類審査の上、第三者による抽選により決定
結果通知	当財団ホームページに抽選結果掲載後、提供先団体へメールにて通知

〈抽選会〉

申請数	582団体(前年度663団体)
抽選会	4月27日(木) 丸の内マイプラザ15F ヤマハ発動機㈱ 東京事務所内 (公財)日本スポーツ協会 泉正文 副会長による抽選
抽選結果	120団体(前年度120団体) ※ボッチャボールセットおよびタグラグビーセット各60団体

(5) 体験型スポーツ教室/イベント

近年の社会や家庭等、生活環境の変化を背景に、子どもたちが自然の中や水辺での活動する機会や、運動機会が減少していると言われている中で、身近にこれらを体験する機会を提供することを通じて、心身ともに健全で逞しい子どもたちの育成を支援すべく、当財団がこれまでの事業で培ってきた知見やネットワーク等を活用し、当財団所在地周辺の地域を対象に体験機会を提供しています。

・「ユニバーサル・スポーツ(ボッチャ)体験会」 チャレンジ! ユニ★スポ

ユニバーサル・スポーツ「ボッチャ」は、障害者スポーツとして生まれた競技ですが、幅広い年齢層や運動能力、障害の有無にかかわらず、参加者誰もが楽しめ交流できるスポーツです。

スポーツを通じて多様性への理解を深め、子どもたちが体を動かすきっかけとなる、スポーツを好きになってもらう体験機会として、(公財)静岡県障害者スポーツ協会の協力を得て、静岡県下小中学校10校で、体験授業「チャレンジ！ユニ★スポ」を開催し、児童、教員685名が楽しく体験しました。

〈ユニバーサル・スポーツ(ボッチャ)体験会開催実績〉

回	日程	学校名	参加者数		
			児童生徒	教員	合計
1	9月15日(金)	掛川市立千浜小学校	30名	3名	33名
2	10月19日(木)	熱海市立泉小・中学校	26名	8名	34名
3	10月20日(金)	伊豆の国市立大仁北小学校	43名	2名	45名
4	11月 6日(月)	牧之原市立相良小学校	70名	2名	72名
5	11月16日(木)	浜松市立和田小学校	99名	3名	102名
6	12月 5日(火)	浜松市立与進北小学校	74名	3名	77名
7	12月19日(火)	静岡市立千代田東小学校	69名	3名	72名
8	12月21日(木)	浜松市立舞阪中学校	93名	8名	101名
9	1月16日(火)	富士宮市立内房小学校	39名	8名	47名
10	1月30日(火)	伊豆の国市立大仁中学校	96名	6名	102名
合 計			639名	46名	685名

2. 調査研究

スポーツ振興やスポーツ文化向上にかかわる社会的な課題解決に寄与する為、当財団の特徴を活かし得る分野において調査研究を行い、その成果の社会活用を促進する活動を行っています。

(1)障害者スポーツ調査研究プロジェクト

12年目となる障害者スポーツ調査研究分野では、①障害者スポーツ競技団体の実態調査、②大学における障害者スポーツの現状に関する調査、③ユニ★スポ体験での児童の意識変容調査、④障害者スポーツ選手のキャリア調査を実施し、それらの結果を調査報告書として発行しました。

また、本年2月に競技団体調査を基に、シンポジウムを開催しました。

・報告書の発行

2024年3月に報告書を発行、Webサイトに掲載

・報告書タイトル

「障害者スポーツを取巻く社会的環境に関する調査研究」

～競技団体の実態、大学の現状、ユニ★スポ体験の効果、選手のキャリアに着目して～

・報告書の概要

【第1章】障害者スポーツ競技団体の実態調査

パラリンピック競技団体:28団体、パラリンピック競技以外の団体:36団体、デフリンピック競技団体:14団体の合計78団体を対象とした実態調査の結果を報告

【第2章】大学における障害者スポーツの現状に関する調査

全国の大学を対象に、障害のある競技者に対する支援や施設貸し出し、障害者スポーツ支援に関する意向等について調査結果を報告

【第3章】ユニ★スポ体験での児童の意識変容調査

小中学校を対象に、ボッチャをユニバーサルなスポーツ教材として5年間(参加4200名)にわたり実施した体験事業の結果より、アダプテッド意識の変容について調査結果を報告

【第4章】障害者スポーツ選手のキャリア調査

障害者スポーツ選手のスポーツを始めるに至った経緯や活動状況について、2023年度実施の26名の報告、及びこれまでに実施した合計76名のインタビューから見えてきたキャリアパターンを掲載

(2) シンポジウムの開催

2023年度に実施した障害者スポーツ競技団体の事業実態について調査結果の概要を報告しました。またパネルディスカッションでは障害者スポーツ競技団体の関係者にご登壇頂き、東京2020パラリンピック開催前後の変化を踏まえながら各競技団体の具体的な活動や課題について説明頂きました。参加者(メディア・行政・競技団体・企業・学校・財団等)の皆様と共有することで、持続可能な障害者スポーツの発展・振興を考えるきっかけとしました。

- ・テーマ : 「障害者スポーツ競技団体の実情～東京2020パラリンピック終了後の課題と今後の展望～」
- ・開催日時 : 2024年 2月17日(土) 15:00～17:00
- ・開催会場 : 御茶ノ水 ソラシティカンファレンスセンター
- ・参加者数 : 65名
- ・登壇者 : 5名
 - ・小淵 和也氏 (公財) 笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 政策ディレクター
 - ・青田 竜之介氏 (一社) 日本車いすラグビー連盟 事業企画委員長
 - ・岩崎 満男氏 (一社) 車いすテニス協会 副会長
 - ・佐々 毅氏 (特非) 日本ソーシャルフットボール協会 理事長
 - ・田中 辰美氏 (特非) 日本パラ射撃連盟 常務理事

3. 普及啓発のための情報発信

スポーツ振興やスポーツ文化向上による社会の活性化に寄与することを目的に、事業活動に関する情報を、ホームページ等を通じて広く社会に対して発信しています。

また、刊行物やリリース発行等での広報活動の充実にも努めています。

情報発信手段	概要
ホームページ	主な掲載内容 ・各事業活動の告知(案内、募集、結果報告等) ・ジュニアヨットスクール葉山の活動紹介 ・スポーツ教材の提供の模範的な活用事例の紹介 ・第35回全国児童自然体験絵画コンテストの実施報告 ・調査研究活動に関する報告書の情報等
ニュースリリース	・スポーツ教材の提供募集、対象者決定等 計7件
刊行物	・YMFS通信 毎月配信 (配信先 約850か所) ・2022年度年間事業報告書 Yearly Digest 700部 ・2023年度障害者スポーツを取巻く社会的環境に関する調査研究 1,000 部

【事務報告】

1. 理事会・評議員会・評議員選定委員会

〈理事会〉

回	開催日時・会場	議事
1	2023年 5月26日(金) 丸の内マイプラザ4F会議室	〈決議事項〉 第1号議案 2022年度事業報告承認の件(承認可決) 第2号議案 2022年度計算書類等承認の件(承認可決) 第3号議案 定時評議員会招集の件(承認可決) 第4号議案 審査委員選任の件(承認可決) 〈報告事項〉 ・代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告
臨時	2023年 7月12日(水)	評議員候補者推薦の件(承認可決: 書面決議)
2	2023年10月20日(金) 丸の内マイプラザ4F会議室	〈報告事項〉 ・2023年度上半期事業概況及び下半期事業活動報告 ・2023年度中間決算及び収支見通し報告 ・代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告
3	2024年 2月22日(木) 丸の内マイプラザ4F会議室	〈決議事項〉 第1号議案 2024年度事業計画承認の件(承認可決) 第2号議案 2024年度収支予算承認の件(承認可決) 第3号議案 2024年度資金調達及び設備投資の見込み承認の件(承認可決) 〈報告事項〉 ・2023年度事業概況報告 ・2023年度収支見通報告 ・代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

〈評議員会〉

	開催日時・会場	議事
定時	2023年 6月16日(金) 丸の内マイプラザ4F会議室	〈決議事項〉 第1号議案 2022年度計算書類等承認の件(承認可決) 〈報告事項〉 ・2022年度事業報告、2023年度事業計画報告

〈評議員選定委員会〉

	決議日	議事
	2023年 7月25日(火)	〈評議員選任の件〉(書面決議) (辞任) 泉 正文 (新任) 岩田 史昭